

令和7年度 西九州大学短期大学部【一般選抜「Ⅱ期」A方式】入学者選抜試験問題

解答（総合問題）

I

問 1	UNICEF	ア	ILO	イ	問 2	およそ 16 億人
問 3	2000 年から 2016 年の間に児童労働が 9,400 万人減少したこれまでの減少傾向が逆転し、2016 年から 2020 年までの過去 4 年間で 840 万人増加して世界で 1 億 6,000 万人に上った。また危険な仕事に就いている 5 歳から 17 歳の子どもの数は、2016 年から 650 万人増加し、7,900 万人となった。					
問 4	エ					
問 5	①児童労働の原因として考えられるものは何か。					
	貧困、差別、慣習、武力紛争や自然災害、教育機会の欠如、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の経済的影響と学校の閉鎖など様々なものがある。					
	②児童労働を防ぐために必要な支援として、どのようなことが考えられるか。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・国境に子どもたちが安全に学習し遊ぶことができる、子どもにやさしい空間を設置する。 ・親の経済的安定につながる仕事を創出する。 ・子どもたちを心理社会的支援などの必要のサポートにつなげるため、カウンセラーやソーシャルワーカーを配置する。 					

Ⅱ

問 1	(1)	パソコンなどの 情報処理	(2)	家政・家事	(3)	2.4
	(4)	3.5	(5)	6.0	(6)	1.3
	(7)	15.5	(8)	家政・家事	(9)	4.4
	(10)	18.9	(11)	家政・家事	(12)	パソコンなどの 情報処理
	(13)	9.6	(14)	家政・家事	(15)	73.7
	(16)	71.5	(17)	25～29	(18)	35～39
	(19)	27.3	(20)	11.5		
問 2	国民の社会生活の実態を明らかにするため（目的のみ部分点）、労働時間と余暇時間のバランス、家事や育児に費やす時間、余暇活動（スポーツ、読書、テレビ視聴など）、社会的な関わり（友人との交流、地域活動）などを調査し、政府や自治体が国民の生活の質を向上させるための施策を検討する際に役立てる。					
問 3	・データから読み取れること、考えられることなど ・自身の行動との比較など ・その他の知り得る情報とあわせて考えられることなど <div>（・感想などは部分点）</div>					